

純真学園大学 第3次中期計画の概要（令和7年度～11年度）

純真学園大学は、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「第3次中期計画」を策定し、令和7年3月25日に理事会にて決定いたしました。

1. 純真学園大学のミッションとビジョン

純真学園大学は、建学の精神に基づき、社会のニーズに応える医療人材を育成します。

ミッション（学園の使命・存在意義） **教育理念**

「人格高潔にして学識高く、社会への貢献意識とリーダーシップを持った医療人の育成」

ビジョン（中期計画終了時に到達すべき将来像）

「高度情報化社会への対応力を備えた医療人材の育成と地域における認知度向上」

2. 中期計画の重点事項（変革を推進する3つの柱）

本中期計画では、「経営の効率化による支出の減少と少子化の中での収入の増加」を目途とし、スピードを最優先事項とする仕組みづくりを計画の中心に据え、以下の3点を重点事項として取り組みます。

- （1）入学定員の確保と大学認知度の向上
 - ・学生獲得競争の拡大や18歳人口の減少という外部環境に影響されないよう、他大学との差別化や広報戦略の強化を推進します。
- （2）退学・休学の防止
 - ・休学・退学者数の増加を全学的な問題と捉え、早期支援体制の構築、学生満足度の向上に取り組み、退学率が2%以内となることを目標とします。
- （3）DX化の推進（教育、学務、働き方のDX化）
 - ・教育、学務、働き方のDX化を推進し、大学運営全体の効率化と教育の質の向上を目指します。

3. 時代に応じた教育改革と他大学との差別化

私たちは、他大学との差別化を図るため、本学独自の特色ある教育を推進します。

- （1）医療人として必須の「人間力」と「実践力」の育成
 - ・学士課程においては、共通教養教育と専門教育を両翼とし、予測困難な時代に社会で活躍するために必要な能力、特にチームワーク、感性、リーダーシップを身に付けた人材を育成します。
- （2）本学ならではの教育環境
 - ・本学の特色である国立病院機構との連携をさらに強化し、実践的な学びの機会を充実させます。
 - ・全学的なオスキー（客観的臨床能力試験）の導入を検討・実施します。オスキーに

よる教育の取り組みは、ステークホルダーの皆様に対して分かりやすく公表してまいります。

- ・教育の質の向上を目指し DX 教育を充実させます。講義の中で学生に能動的で双方向的な学びを推進するための DX の取り組みを進め、令和 8 年度には学生のタブレット端末必携化の方向性を決定する予定です。

4. 学生を支え、学びを深めるための取り組み

学生生活支援の充実を図り、医療職を目指す学生が、健康で充実した大学生活を送り、国家資格の取得並びに希望する卒業後の進路を実現できるよう支援します。

- (1) 1 年生を対象とし、医療機関（病院など）の見学を通して、入学後早期に専門職としての意識と学修意欲を高めるアーリーエクスポージャーを推進します。
- (2) 休退学者防止のため、学生満足度調査の結果を迅速に分析し改善策を実施するとともに、教職協働の取り組みの強化、また、SG（スモールグループ）及び担任制の役割を明確化し見直しを行うことで、学生の定着と学修のサポートを充実させます。

5. 地域社会への貢献と情報発信

地域に愛され必要とされる大学づくりを目指し、地域社会への貢献活動を積極的に展開します。

- (1) 健康フェスティバル、南区こども大学への参加、子育て支援・がん教育といった地域活動などを継続的に実施し、地域自治体との連携強化や、防災・防犯活動への協力体制を築き、地域に根差した大学としての説明責任を果たします。
- (2) 広報活動を積極的に展開し、特に SNS 等を活用した広報を充実させます。プロモーション動画を使用した YouTube/SNS 広告の運用等により、中期計画最終年度までに安定した動画視聴回数を目指します。

6. 持続可能な大学運営に向けて

私たちは、本計画を通じて学生に選ばれる大学を目指し、持続可能な健全経営を維持してまいります。

- (1) 中期計画最終年度（令和 11 年度）には、在籍学生数 1,204 名以上となることを目標とし、経常収支差額比率 10.0%（約 2 億円）の達成を目指します。これらの目標達成に向け、教職員一同、計画を着実に実行してまいります。